科目ナン	バリン	グ U-1	U-LAS04 10003 LJ47											
授業科目 <英訳>		学II gogy II					担当者所属 職名・氏名			非常勤講師 久保田 健一郎				
群	人文・社会科学科目群 分野(分類) 教育						・心理・社会(基礎)			伊	用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数 1二		1コマ		授業	受業形態 講		<b>遠(対面授業科目)</b>			
開講年度・ 開講期	2025 •	後期	曜時限	木3			配当	当学年	全回生		対象学:	生	全学向	

#### [授業の概要・目的]

本授業は、学校教育より広い範囲で教育を捉え、幼児期の教育、親になること、児童虐待、生殖と出産、地域社会における人間形成など幅広いテーマを学んでいく。その際に教育人間学のアプローチを採用する。教育人間学とは、教育に関して自明に思われていることを、その根底から疑って考察するものである。こうしたアプローチによって、教育に関する事象をより深く理解することができる。

# [到達目標]

- ・教育のみで人間の成長を考える限界と、人間形成論の可能性を理解する。
- ・各テーマについてその現象と背景について理解する。

### [授業計画と内容]

基本的に以下の計画に従って授業を進めるが、講義の進行具合によって、講義回数が異なることがある。

- 1.教育から人間形成へ
- 2. 幼児教育のアクチュアリティ
- 3. 少子化問題の人間学
- 4.3歳児神話という思想
- 5.親になること ある事例の紹介
- 6.親になること 父親の子育て・母親の子育て
- 7. 児童虐待
- 8.子どもの貧困
- 9.施設で育つ子どもたち
- 10.科学の進歩と子育て ある事例の紹介
- 11.科学の進歩と子育て 優生学と現代社会
- 12.生殖と出産の人間学
- 13.母子保健の思想史
- 14.地域社会と子育て
- 15.フィードバック(フィードバック方法は別途連絡します)

|授業回数はフィードバックを含め全15回とする

#### [履修要件]

特になし

教育学II(2)へ続く

#### 教育学II(2)

## [成績評価の方法・観点]

平常点(50点)と期末レポート(50点)で評価します。平常点は課題提出と授業への参加度に応じて評価します。期末レポートは、到達目標の達成度に基づき評価します。

レポート提出のみで単位が出る授業ではないことを理解した上で、受講して下さい。

### [教科書]

PandAに授業資料を提示します。

#### [参考書等]

#### (参考書)

授業中に紹介する

## [授業外学修(予習・復習)等]

日頃から教育のみならず、幅広く社会問題に興味を持つことが最大の予習です。復習は紹介した参 考文献などから、各自深めていってください。

### [その他(オフィスアワー等)]

授業内容に関心がある方のみ受講して下さい。例年、履修者が多く、抽選になりやすい授業ですので、単位取得のみに関心がある学生の受講はご遠慮ください。

授業方法に関しては、講義が中心になりますが、映画鑑賞、グループワーク、小レポートを織り交 ぜた授業になります。

## [主要授業科目(学部・学科名)]